



2024年8月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年10月11日

上場会社名 株式会社FIXER 上場取引所 東
 コード番号 5129 URL <https://www.fixer.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松岡 清一
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 磐前 豪 (TEL) 03(3455)7755
 定時株主総会開催予定日 2024年11月28日 配当支払開始予定日 —
 有価証券報告書提出予定日 2024年11月29日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満切捨て)

1. 2024年8月期の業績(2023年9月1日~2024年8月31日)

(1) 経営成績 (%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益			
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
2024年8月期	6,468	△41.5	260	△87.6	266	△87.2	156	△88.7		
2023年8月期	11,049	△2.7	2,110	△11.9	2,089	△12.6	1,382	△7.6		
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益		自己資本 当期純利益率		総資産 経常利益率		売上高 営業利益率	
	円	銭	円	銭	%		%		%	
2024年8月期	10.59		9.94		2.7		3.9		4.0	
2023年8月期	95.01		88.50		31.0		29.2		19.1	

(参考) 持分法投資損益 2024年8月期 -百万円 2023年8月期 -百万円

(注) 2023年8月期の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、当社株式が2022年10月6日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、新規上場日から前事業年度の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
2024年8月期	6,590		5,877		89.2		397.64	
2023年8月期	7,140		5,718		80.1		387.53	

(参考) 自己資本 2024年8月期 5,875百万円 2023年8月期 5,717百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
2024年8月期	△626		△34		△18		4,154	
2023年8月期	539		△415		1,024		4,833	

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円	銭	円	銭	円			
2023年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2024年8月期	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—
2025年8月期(予想)	—	0.00	—	0.00	0.00	—	—	—

3. 2025年8月期の業績予想(2024年9月1日~2025年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭	
通期	6,611	2.2	393	50.7	393	47.6	251	60.9	14.60	

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年8月期	14,776,200 株	2023年8月期	14,753,400 株
2024年8月期	35 株	2023年8月期	35 株
2024年8月期	14,768,915 株	2023年8月期	14,549,485 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、上記業績予想に関する記述は、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	7
(4) キャッシュ・フロー計算書	8
(5) 財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(セグメント情報等)	9
(持分法損益等)	9
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は新型コロナウイルス感染症による各種制限からの緩和が一巡し、社会経済活動の正常化が進むとともに、景気の緩やかな回復傾向の兆しが見られました。一方で、世界的な資源価格の高騰をはじめとした物価の上昇に加え、継続的な金融引締めが行われる等、海外景気の下振れリスクが意識されており、景気の先行きは楽観ができない状況です。

当社が属する国内の情報サービス産業においては、労働人口の減少傾向や業務効率化ニーズを背景に、デジタル化の推進ニーズは旺盛です。特にアナログな事務作業のデジタル化効率化、オンプレミスで運用されているレガシーシステムのクラウド化へのニーズは非常に強く、クラウドサービス事業者への期待は持続しています。

このような環境下、当社はクラウドネイティブカンパニーとして、「日本のエンタープライズシステムにグローバル品質のクラウドパワーを」をミッションに掲げ、世界一クラウドネイティブなシステム開発力と、保守・運用を請け負うマネージドサービスの提供を通じて、日本のDX（デジタルトランスフォーメーション）の加速に取り組んでまいりました。

具体的には、プロジェクト型サービスで開発したシステムを、Microsoft Azureを中心としたパブリッククラウド上で保守・運用を請け負うマネージドサービスと、パブリッククラウドの販売を行うリセール、顧客ニーズの高い機能をプラットフォーム化した高付加価値のSaaSとして提供してまいりました。

プロジェクト型サービスでは大型案件の規模縮小により前期比1,063百万円（36.8%）の減少、リセールではHER-SYS関連の大型契約終了などの影響で前期比1,272百万円（26.7%）の減少、SaaSでは新型コロナウイルス感染症の健康観察に使用されていた自動架電の大幅な利用減少により前期比1,729百万円（96.8%）の減少、マネージドサービスではエンハンス開発（既存システムの追加開発や改修）が減少した影響で前期比518百万円（32.3%）の減少となりました。また、新サービスとして市場に投入したエンタープライズ向け生成型AI「GaiXer」の提供を本格的に開始する等、更なる成長に向けた事業構造の変革に着手しました。さらに今後の成長を支える人材の獲得や認知度向上を目的とした効果的な広告宣伝活動にも取り組み、前期末比78名増加し326名と大幅な増員となり、次の成長に備えるための人材の確保をいたしました。

以上の結果、売上高6,468百万円（前期比41.5%減）、売上総利益2,102百万円（前期比48.0%減）、営業利益260百万円（前期比87.6%減）、経常利益266百万円（前期比87.2%減）、当期純利益156百万円（前期比88.7%減）となりました。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末における流動資産は5,854百万円となり、前事業年度末に比べ471百万円減少しました。主な要因は、未収還付法人税等が270百万円増加した一方で、現金及び預金が679百万円、売掛金及び契約資産が129百万円減少したことによるものであります。固定資産は735百万円となり、前事業年度末に比べ79百万円減少しました。主な要因は、繰延税金資産が41百万円、建物（純額）が16百万円、敷金が10百万円減少したことによるものであります。この結果、総資産は6,590百万円となり、前事業年度末に比べ550百万円減少しました。

(負債)

当事業年度末における流動負債は703百万円となり、前事業年度末に比べ701百万円減少しました。主な要因は、買掛金が266百万円、未払法人税等が215百万円、未払金が97百万円、未払費用が69百万円減少したことによるものであります。固定負債は10百万円となり、前事業年度末に比べ7百万円減少しました。主な要因は、長期借入金が7百万円減少したことによるものであります。この結果、負債合計は713百万円となり、前事業年度末に比べ708百万円減少しました。

(純資産)

当事業年度末における純資産合計は5,877百万円となり、前事業年度末に比べ158百万円増加しました。主な要因は、当期純利益の計上により利益剰余金が156百万円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末に比べ679百万円減少し、4,154百万円となりました。当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度の営業活動の結果、支出した資金は626百万円（前事業年度は539百万円の獲得）となりました。これは主に、税引前当期純利益が268百万円、売上債権の減少額が129百万円あった一方で、法人税等の支払額が541百万円、仕入債務の減少額が266百万円あったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度の投資活動の結果、支出した資金は34百万円（前事業年度は415百万円の支出）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出が46百万円あったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当事業年度の財務活動の結果、支出した資金は18百万円（前事業年度は1,024百万円の獲得）となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出が20百万円あったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

当社が事業を展開する情報サービス産業、またはクラウドサービス市場は、テクノロジーの提供による業務効率化などに対する企業のニーズは引き続き旺盛である中、生成AI技術を活用した新しい市場拡大が予想されています。

このような中、既存事業の成長と共に、エンタープライズ向け生成型AI「GaiXer」の販売を引き続き進め、社会に対しての価値提供を行いながら事業構造の変革を推進してまいりました。

2025年8月期にきましては、今後引き続き期待される業務効率化、クラウド化、アナログ作業のデジタル化などのニーズに応えるために、人材投資も引き続き行ってまいります。若い力と新たな技術によって、今までにない開発を通じてお客様の満足度を当社の成長と信頼としていく所存でございます。

以上を踏まえ、2025年8月期の業績予想は、売上高6,611百万円（前期比2.2%増）、営業利益393百万円（前期比50.7%増）、経常利益393百万円（前期比47.6%増）、当期純利益251百万円（前期比60.9%増）を計画しております。

なお、業績予想などの将来予測情報につきましては、現在入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の実績等は、今後様々な要因により大きく異なる可能性があります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、IFRS（国際財務報告基準）の適用については、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当事業年度 (2024年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,837	4,157
売掛金及び契約資産	1,338	1,208
前払費用	131	88
未収還付法人税等	—	270
その他	18	129
流動資産合計	6,325	5,854
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	195	178
車両運搬具（純額）	2	0
工具、器具及び備品（純額）	63	69
その他（純額）	15	5
有形固定資産合計	276	254
投資その他の資産		
投資有価証券	6	—
出資金	0	0
長期前払費用	4	4
敷金	418	408
繰延税金資産	98	56
その他	11	12
投資その他の資産合計	538	480
固定資産合計	815	735
資産合計	7,140	6,590

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年8月31日)	当事業年度 (2024年8月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	591	324
未払金	169	71
未払費用	181	111
契約負債	8	9
未払法人税等	228	12
1年内返済予定の長期借入金	20	7
賞与引当金	112	121
役員賞与引当金	14	0
預り金	21	10
その他	55	32
流動負債合計	1,404	703
固定負債		
長期借入金	17	10
固定負債合計	17	10
負債合計	1,421	713
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,212	1,213
資本剰余金		
資本準備金	1,177	1,178
資本剰余金合計	1,177	1,178
利益剰余金		
その他利益剰余金		
繰越利益剰余金	3,326	3,483
利益剰余金合計	3,326	3,483
自己株式	△0	△0
株主資本合計	5,717	5,875
新株予約権	1	1
純資産合計	5,718	5,877
負債純資産合計	7,140	6,590

(2) 損益計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
売上高	11,049	6,468
売上原価	7,002	4,365
売上総利益	4,047	2,102
販売費及び一般管理費		
広告宣伝費	161	97
役員報酬	111	88
給料及び賞与	471	454
減価償却費	26	37
賞与引当金繰入額	50	45
役員賞与引当金繰入額	14	0
支払手数料	161	233
地代家賃	303	351
支払報酬	185	112
その他	450	420
販売費及び一般管理費合計	1,936	1,841
営業利益	2,110	260
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	0	0
雑収入	0	5
営業外収益合計	0	6
営業外費用		
上場関連費用	7	—
株式交付費	11	—
支払利息	0	0
為替差損	2	0
雑損失	0	0
営業外費用合計	22	0
経常利益	2,089	266
特別利益		
投資有価証券売却益	—	1
新株予約権戻入益	—	0
特別利益合計	—	2
税引前当期純利益	2,089	268
法人税、住民税及び事業税	679	70
法人税等調整額	27	41
法人税等合計	706	112
当期純利益	1,382	156

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)

(単位：百万円)

	株主資本						新株予約権	純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式			株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計				
当期首残高	650	615	615	1,944	1,944	—	3,210	1	3,211
当期変動額									
新株の発行	554	554	554				1,109		1,109
新株の発行（新株予約権 の行使）	7	7	7				15		15
当期純利益				1,382	1,382		1,382		1,382
自己株式の取得						△0	△0		△0
株主資本以外の項目の当 期変動額（純額）								—	—
当期変動額合計	562	562	562	1,382	1,382	△0	2,507	—	2,507
当期末残高	1,212	1,177	1,177	3,326	3,326	△0	5,717	1	5,718

当事業年度(自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)

(単位：百万円)

	株主資本						新株予約権	純資産合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金		自己株式			株主資本合計
		資本準備金	資本剰余金 合計	その他 利益剰余金 繰越利益 剰余金	利益剰余金 合計				
当期首残高	1,212	1,177	1,177	3,326	3,326	△0	5,717	1	5,718
当期変動額									
新株の発行							—		—
新株の発行（新株予約権 の行使）	0	0	0				1		1
当期純利益				156	156		156		156
自己株式の取得							—		—
株主資本以外の項目の当 期変動額（純額）								△0	△0
当期変動額合計	0	0	0	156	156	—	158	△0	158
当期末残高	1,213	1,178	1,178	3,483	3,483	△0	5,875	1	5,877

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	2,089	268
減価償却費	46	66
株式交付費	11	—
上場関連費用	7	—
新株予約権戻入益	—	△0
受取利息及び受取配当金	△0	△0
支払利息	0	0
売上債権の増減額 (△は増加)	1,536	129
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,552	△266
投資有価証券売却損益 (△は益)	—	△1
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△50	8
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	14	△13
未払金の増減額 (△は減少)	△26	△97
未払費用の増減額 (△は減少)	62	△69
その他の資産の増減額 (△は増加)	0	△60
その他の負債の増減額 (△は減少)	△226	△48
小計	1,912	△85
利息及び配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△0	△0
法人税等の支払額	△1,372	△541
営業活動によるキャッシュ・フロー	539	△626
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△224	△46
有形固定資産の売却による収入	—	4
投資有価証券の売却による収入	—	8
敷金の差入による支出	△192	△0
敷金の回収による収入	3	0
保険積立金の積立による支出	△1	△1
定期預金の預入による支出	△0	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	△415	△34
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△80	△20
株式の発行による収入	1,124	1
自己株式の取得による支出	△0	—
株式の発行による支出	△11	—
上場関連費用の支出	△7	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,024	△18
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,148	△679
現金及び現金同等物の期首残高	3,685	4,833
現金及び現金同等物の期末残高	4,833	4,154

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

当社は、クラウドサービス事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、記載事項はありません。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
1株当たり純資産額	387.53円	397.64円
1株当たり当期純利益	95.01円	10.59円
潜在株式調整後1株当たり当期純利益	88.50円	9.94円

(注) 1. 前事業年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、当社株式が2022年10月6日に東京証券取引所グロース市場に上場したため、新規上場日から前事業年度の末日までの平均株価を期中平均株価とみなして算定しております。

2. 1株当たり当期純利益及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2022年9月1日 至 2023年8月31日)	当事業年度 (自 2023年9月1日 至 2024年8月31日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(百万円)	1,382	156
普通株主に帰属しない金額(百万円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(百万円)	1,382	156
普通株式の期中平均株式数(株)	14,549,485	14,768,915
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(百万円)	—	—
普通株式増加数(株)	1,070,507	960,254
(うち新株予約権(株))	(1,070,507)	(960,254)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

3. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度末 (2023年8月31日)	当事業年度末 (2024年8月31日)
純資産の部の合計額(百万円)	5,718	5,877
純資産の部の合計額から控除する金額(百万円)	1	1
(うち新株予約権(百万円))	(1)	(1)
普通株式に係る期末の純資産額(百万円)	5,717	5,875
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	14,753,365	14,776,165

(重要な後発事象)

該当事項はありません。